

令和2年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：教授・中島千晴

内線電話番号：9638

電子メール：chiharu@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

海外協定校における短期実習の多様化

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

実施予定であったマレーシアトレンガヌ大学でのサマースクールを中止し、オンラインにて生物資源学研究科卒業生でもある教員を講師に迎え、サマースクールの説明会を1年生対象に実施し、また先方の学生を対象に三重大学が研究内容と交流についてwebセミナーを実施した

(2) 事業の背景・これまでの実績

昨年までに開催された2回のサマースクールにのべ14名が参加している。この他にマレーシアプトラマレーシア大学、フィリピンセントラルルソン大学においてサマースクールを実施する予定であった

(3) 事業実施結果

突発的な事故のため、マレーシアからの講義は中止されたが、2020年12月2日に1年生260名に対しサマースクール等、生物資源学研究科の国際交流事業の説明を実施した。また2020年12月7日にマレーシア・トレンガヌ大学向けオンラインセミナーでは三重大学からは生物資源学研究科長以下4名の教員による講演、マレーシアトレンガヌ大学からは水産・食品学部長以下、4名の教員による講演が行われ、生物資源学研究科大学院生、渡日の叶っていないアジア・アフリカ地域の待機学生(研究生・休学学生)や、マレーシアトレンガヌ大学からは水産・食品学部生等、10カ国200名を超える国際色豊かなセミナーとなった。

MIE-U and UMT JOINT WEBINAR
Better Understanding of Biodiversity and Sustainable Development of Biological Resources

07 DECEMBER 2020 | 1400-1600 PM (Malaysia) | 1500-1700 PM (Japan)

AGRICULTURE AND FOOD SCIENCES SESSION

01 Assoc. Prof. Dr. Shamsul Bahri Abd Razak
Faculty of Fisheries and Food Science, Universiti Malaysia Terengganu

02 Assoc. Prof. Dr. MASUDA Yuichi
Graduate School of Bioresources, Mie University

03 Ts. Dr. Fauziah Tufail Ahmad
Faculty of Fisheries and Food Science, Universiti Malaysia Terengganu

04 Assoc. Prof. Dr. TSUKADA Morio
Graduate School of Bioresources, Mie University

FISHERIES AND AQUACULTURE SESSION

05 Ts. Dr. Lokman Hakim
Faculty of Fisheries and Food Science, Universiti Malaysia Terengganu

06 Assoc. Prof. Dr. TSUTSUI Naoaki
Graduate School of Bioresources, Mie University

Moderator
Dr. Sharifah Noor Emilia Syed Jamil Fadaak
Faculty of Fisheries and Food Science, Universiti Malaysia Terengganu

Webex Meetings
<https://umt.webex.com/umt/onstage/g.php?MTID=edd0932b19195e081feddc80efeb01c55>

(4) 事業の意義

三重大学の顔である水産系、強みである生物資源を利用する農芸化学、熱帯をフィールドにした昆虫生態学について双方で議論が行われた

(5) 事業の発展性

教員同士の将来的なマッチングを企図して実施しており、次年度以降の交流が期待される

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標【12】: (大学と地域のグローバル化推進) 世界で活躍できるグローバル人材を育成し、国際教育・国際共同研究を充実させるために、地域社会や世界各国の大学との交流活動を活発化させ、海外の大学等との学生と研究者の相互交流を増加させる。

(7) その他